

第7回九州学生陸上競技新人選手権大会

競技注意事項

1. 規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則(以下、競技規則という)および競技会における広告および展示物に関する規程、本大会競技注意事項および本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。

2. 練習について

「(別記2)競技注意事項 競技場練習について」を確認すること。

3. 競技場を使用する際の注意点について

(1) 競技場図は、「(別記1)競技注意事項 競技場の入場規制について」を確認すること。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、以下の通りとする。

① 競技場に入る際には、指定の Google フォームで体調申告をし、スタンド入退場口で検温を受ける必要がある。フォームについては、大会当日までに本連盟ホームページに掲載する。

② 競技場内では、原則としてマスクを着用すること。競技中はマスクを着用する必要はないが、招集所や待機場所ではマスクを着用すること。

③ 声を出しての応援や指笛による応援を禁止する。

④ 監督やコーチ等がコーチングエリアから競技者に向かって話す際は、マスクを着用した上で話すようにすること。

(3) 更衣室とシャワールーム、ごみ箱の使用を禁止する。

(4) メインスタンドでの部旗・横断幕の掲出を禁止する。バックスタンドの所定の場所(外側の柵)に部旗・横断幕を掲出することは認めるが、その場合は必ずひもを使用し、ガムテープやクラフトテープを使用しないこと。

(5) 競技場の外にテントを立てることを禁止する。また、サイドスタンドとバックスタンドにテントを立てることは許可するが、風でテントが飛ばされることがないように十分な固定を行うこと。

(6) ごみ袋を学校受付の際に配布するので、清掃を徹底して行い、競技場で生じたごみは各大学が責任をもって持ち帰ること。

(7) 大会当日の大学ごとの場所取り、スタンドの使用方法、コーチングエリアについては、「(別記1)競技注意事項 競技場の入場規制について」を確認すること。

(8) 競技場内のすべての電源の使用を禁止する。

(9) 競技場は全天候舗装であるため、スパイクは全天候型トラック並行ピンを使用し、長さは9mmを超えてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は、使用するスパイクの長さは12mmを超えてはならない。

- (10) 当該競技の出場者以外はトラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合、その大学のそれ以降の競技の出場を認めない場合がある。
- (11) 競技場内での写真、ビデオの撮影について、選手のプライバシーおよび肖像権を保護するため、大会関係者および主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。盗撮防止のため、大会役員が声をかけることがあるが、その場合はすみやかに許可証を提示すること。なお、許可なく撮影している者を発見した場合、厳重に処分する。
- (12) 競技者は、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話、スマートフォン、もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用してはならない。そのような競技者は、助力を与えたり受けたりしているとして競技役員によって警告される。さらに助力を繰り返すと、その競技者は失格となる。なお、その他の競技者に対する助力については、競技規則TR 6を確認すること。
- (13) 医務室、救護室は競技場内に設ける。なお、競技中の発病・負傷に関して、主催者側で応急手当は行すが、それ以上の責任は負わない。ただし、競技者は、2022年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員であり、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。必ず保険証(コピー可)を持参すること。なお、新型コロナウイルス感染症は、スポーツ安全保険の適用対象外である。
- (14) メインスタンド下の競技場内通路は、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- (15) スパイクで競技場内通路を通行することは厳禁とする。なお、競技場内通路は正面出入口からゴール地点に向かって一方通行である。
- (16) 貴重品の管理は、各大学および個人で責任をもって行うこと。盗難・紛失について、主催者は一切責任を負わない。拾得物があった場合は、インフォメーション・センターで一時保管する。
- (17) 開門時刻と閉門時刻は以下の通りである。ただし、予告なく変更する場合がある。また、開門時刻前、閉門時刻後は競技場内に立ち入らないこと。開門前、閉門後に許可なく競技場内に立ち入っている大学を発見したときは、厳重に注意し、その大学のそれ以降の競技の出場を認めない場合がある。

期 日	開門時間	閉門時間
10月15日(土)	8:00	17:00
10月16日(日)	8:00	17:30

4. 招集について

- (1) 招集所は、第1コーナー付近に設置する。
- (2) 招集は、以下の手順で行う。
- ① 招集開始時刻になり次第、招集所において、競技者のシューズ、スパイク、アスリートビブス、商標について確認する。また、商標に関しては、「競技会における広告および展示物に関する規程」および「5. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について」に従い、確認を行う。

- ② スタート場所または競技場所において、最終コールを行う。
- (3) **代理人による招集は認めない**。他の種目と招集時刻および競技時刻が重複する場合は、**招集所に重複出場届(招集所で配付)を提出すること**。
- (4) リレーのオーダーについては、メンバーおよびオーダーの変更の有無に関わらず、ラウンドごとにオーダー用紙(インフォメーション・センターで配付)を**インフォメーション・センターと招集所の2カ所**に提出すること。**提出締切は招集完了時刻の1時間前とし、提出が遅れた場合は出場を認めない**。これ以降のメンバーおよびオーダーの変更は、競技者の発病・負傷等によるものに限る、さらに主催者の任命した医務員の判断がない限り認められない。また、招集開始時刻になり次第、メンバー全員で招集を受けること。
- (5) **招集完了時刻に遅れた場合は、出場を認めないので十分に注意すること**。
- (6) 招集開始時刻と招集完了時刻は、以下のように定めることとする。種目ごとの招集開始時刻と招集完了時刻は、本大会競技日程を確認すること。

	トラック種目	棒高跳	その他フィールド種目
招集開始時刻	競技開始40分前	競技開始90分前	競技開始60分前
招集完了時刻	競技開始30分前	競技開始80分前	競技開始50分前

5. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」により、競技者が競技場内で着用する衣類等に表示できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの数と大きさについては、以下のようになっている。事前に確認しておくこと。違反となる場合には、テープ等でマスキングを行う。

(1) アスリートキット

- ① 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンス等)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット(トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット)
- ・ 製造会社名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
 - ・ スポンサー名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
ただし、上下全く同一のものでなければならない
 - ・ 所属団体名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ
上衣後ろは高さ4cm以内、他は5cm以内 それぞれ長さは問わない
 - ・ 学校名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ 大きさは問わない
- ② 競技中に競技者が着用するその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンド等)
- ・ 製造会社名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内、高さ3cm以内
 - ・ 所属団体名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内
 - ・ 都道府県名/ロゴ、学校名/ロゴ 大きさは問わない

(2) 個人の所有物およびアクセサリ

① タオル

- ・ 製造会社名/ロゴ タオル1枚につき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ タオル1枚につき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ

② バッグ

- ・ 製造会社名/ロゴ 数は問わない 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
 - ・ スポンサー名/ロゴ 1つのバッグにつき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
 - ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない
- ※ スポンサー名/ロゴのうち1つを、以下に変更できる
- ・ 所属団体名/ロゴ 1つ 高さ5cm以内 長さは問わない
 - ・ 学校名/ロゴ 1つ 大きさは問わない

③ 飲料ボトル

- ・ スポンサー名/ロゴ 1つの飲料ボトルにつき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ※ ペットボトルを持ち込む場合は、ラベルをはがすこと

6. 靴底の厚さに関する規定について

本大会では、競技規則 TR 5.2に基づき、以下に示す規定を満たしていないシューズを着用する競技者の出場を認めない。

種目	靴底の最大の厚さ	補足
800m 未満のトラック種目 (ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
800m 以上のトラック種目 (障害物競走を含む)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
フィールド種目(三段跳を除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用する。 全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点の靴底の厚さは、競技者のかかとの中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点の靴底の厚さは、競技者のかかとの中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

7. 不出場について

大会の運営を円滑に進めるため、競技者は不出場を極力避けること。やむを得ず不出場となる場合は、以下の要領で申し出ること。無断での不出場に対しては、その競技者の今後の本連盟主催大会の出場を認めない等の厳しい処分を課す場合があるので、十分に注意すること。

- (1) 10月10日(月)までに不出場となることが決まっている場合は、本連盟ホームページから不出場届をダウンロードし、10月10日(月) 23:59までに本連盟へFAXで送付すること(郵送は不可)。
- (2) 10月11日(火)以降に不出場となることが決まった場合には、大会当日、不出場届(インフォメーション・センターで配付)に必要事項を記入して、招集所とインフォメーション・センターの2カ所に提出し、承認を得ること。なお、この手続きを行えば、その競技者はそれ以降の競技に出場できる。

8. アスリートビブスと腰ナンバーカードについて

- (1) アスリートビブスは、本連盟が指定した2022年度の登録番号が書かれているものを使用すること。
- (2) アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸・背のいずれかにつければよい。また、アスリートビブスの折曲げは禁止する。
- (3) トラック競技では写真判定装置を使用するため、競技者は、主催者が用意する腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字が見えるようにつけること。このとき、競技中に外れることがないよう確実につけるようにすること。また、3000mSC、5000m、10000m、5000mW、4×400mリレーについては両腰につけること。
- (4) 1500m、3000mSC、5000m、10000mでは、布製の腰ナンバーカードを使用するため、フィニッシュ後に返却すること。それ以外の種目では、使い捨てのものを使用するため、フィニッシュ後に返却する必要はない。

※ 競技規則TR 5.7～5.11をすること。

9. 競技の抽選・番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝以降の組み合わせは、主催者が公平に抽選し、決まり次第、本大会速報サイトに掲載する。速報サイトについては、本連盟ホームページやプログラム37ページ(予定)を確認すること。また、記録掲示板は設置しないので注意すること。
- (2) トラック種目における次ラウンドへのプラス選出の際に、タイムが同じ競技者が複数出て次ラウンドに進出する競技者を決定できない場合、写真判定による0.001秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、競技者または代理人によって公平に抽選を行い、次ラウンドへの進出者を決定する。ただし、1500m、3000mSCの場合は、該当者全員が次ラウンドに進出できる。※競技規則TR 21を参照すること。
- (3) 写真判定装置が故障した場合、その種目の当該ラウンドを全組、手動計時に変更する場合がある。

10. トラック種目について

- (1) 混成競技を除いて、不正スタートをした競技者は失格とする。混成競技では、各レースで1回目の不正スタートは失格にならないが、その後に不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
※競技規則TR 16.8を確認すること。
- (2) スタートの合図は「On Your Marks」、「Set」で行う。
- (3) 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュ後も自分のレーンを走ること。
- (4) リレー種目については、以下の通りとする。
 - ① 同一種目において、そのリレー種目に申し込んだ競技者は、申込時と異なるチームのメンバーとして出場することはできない。また、1度出場した競技者は、それ以降のラウンドにおいて別のチームのメンバーとして出場することはできない。
 - ② リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいても、本大会のリレー種目または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、そのリレー種目に申し込んだチームのメンバーの中から少なくとも2人は出場しなければならない。
 - ③ 次ラウンドにおける交代は2人以内でなければならない。なお、出場チーム数の都合上、単一ラウンド(決勝のみ)となった場合、次ラウンドに進んだものとする。※競技規則TR 24.10を確認すること。
 - ④ 各大学において、同一のユニフォームを着用すること。ただし、デザインが同じものを着用すれば、スパッツとランニングパンツの区別は設けない。
 - ⑤ 4×100mリレーでは、招集所で配付する本連盟が用意したマーカーまたは各自で用意したマーカーを使用すること。ただし、マーカーを各自で用意する際は、競技規則TR 24.4のマーカーの大きさに関する規定に注意すること。
- (5) 男子5000mは、タイムレース決勝とする。
- (6) 10000m、5000mWlにおいては、給水を設置する。5000mについては、気象条件により設置する。
- (7) 5000m、10000m、5000mWlにおいては、大会当日の状況を見て、インレーンとアウトレーンへの振り分けを行う。競技役員の指示に従うこと。
- (8) 5000m、10000m、5000mWlにおいては、フィニッシュの際、4レーンより外側のレーンでゴールすること。
- (9) 3000mSCにおいては、ランニングシューズでの出場を認めない。

11. フィールド種目について

- (1) 跳躍種目のバーの上げ方は、原則として以下の通りとする。ただし、練習のバーの高さについては、あくまでも目安である。また、同成績の場合は、競技規則TR 26.8を適用する。

種目・種別		練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m70、2m00	1m75- (5cm刻み) -2m05- (3cm刻み)
	女子	1m40、1m60	1m45- (5cm刻み) -1m60- (3cm刻み)
棒高跳	男子	3m30、4m50	3m40- (20cm刻み) -4m60- (10cm刻み)
	女子	2m10、3m30	2m20- (20cm刻み) -3m40- (10cm刻み)

- (2) 走高跳・棒高跳の練習の高さは、大会当日、競技者と競技役員の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・本連盟による協議により、設定の高さを変更して競技を行う場合がある。
- (3) 走幅跳は、男女ともに2ピットで競技を行う。ただし、女子は人数によって1ピットに変更する可能性がある。
- (4) 三段跳は、男子は2ピットで行い、踏切線と砂場の近い方の端の距離を13mと11mに設定する。女子は1ピットで行い、踏切線と砂場の近い方の端の距離を10mに設定する。
- (5) 試技時間は以下の通りとする。試技時間を超えた場合、競技規則TR 25.18で記載されている場合を除き、無効試技として記録する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	<u>1分</u>	1分	<u>1分</u>
2～3人以上	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の試技

** 単独種目・混成競技ともに、残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。走高跳・棒高跳では、残っている競技者が2人以上、同一の高さのみ適用する。

- (6) 跳躍種目や投てき種目の公式練習については、競技役員の指示に従い、競技開始前に行うこと。

12. 表彰について

- (1) 各種目3位までに入賞した選手に表彰を行う。各種目の終了後に案内を行うので、競技役員の指示に従うこと。入賞者が表彰に来られない場合は、代理人を出すこと。
- (2) 表彰の際、上衣は各大学のユニフォーム等を着用すること。下衣は特に指定しない。
- (3) 閉会式において、成績の優れた男女1名ずつを最優秀選手として表彰し、最優秀選手賞としてトロフィーを授与する。
- (4) 表彰式の実施方法については、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更することがある。

13. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は主催者側が用意する。ただし、やり、ポール、砲丸、円盤、ハンマーについては、検査を受けて合格したものは個人のもを使用しても良いが、持ち込んだ用器具は、希望がある場合、持ち主以外の競技者に使用させなければならない。また、使用に際して破損等の事故が発生した場合は、当該使用者が責任を負うものとし、主催者側は責任を負わない。
- (2) (1)における、個人のやり、ポール、砲丸、円盤、ハンマーの検査は、大会当日の招集開始時刻から招集完了時刻までに用器具庫付近の南側倉庫で行う。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、滑り止め(炭酸マグネシウム)は共用としない。そのため、主催者は、滑り止め(炭酸マグネシウム)を用意しない。競技者は、必要に応じて滑り止め(炭酸マグネシウム)を持参し、使用すること。なお、松ヤニの使用は禁止する。
- (4) 投てき器具は共用となるので、使用後は手洗い・洗顔を行うこと。また、競技中に不用意に手で顔を触らないように注意すること。

14. 抗議について

- (1) 抗議をする際は、競技規則TR 8に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に、同一日に次のラウンドが行われる種目では、その結果が発表されてから15分以内に、競技者自身または代理人が審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 抗議に対する審判長の裁定を不服とし、上訴する際は、その競技者に代わるチームの代表者による上訴申立書を、預託金(10,000円)を添えて提出しなければならない。この預託金は、上訴が受け入れられなかった場合、没収される。

15. 各書類の配布場所と提出場所について

書類名	配布場所	提出場所
不出場届	インフォメーション・センター	招集所とインフォメーション・センター
重複出場届	招集所	招集所
リレーオーダー用紙	インフォメーション・センター	招集所とインフォメーション・センター
記録証明書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
上訴申立書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター(要預託金)

16. その他

- (1) 記録証明書の発行を希望する競技者は、300円を添えてインフォメーション・センターへ申し込むこと。
- (2) 競技結果等は、記録処理終了後に随時、本大会速報サイトで発表を行う。速報サイトについては、本連盟ホームページやプログラム 37 ページ(予定)を確認すること。また、記録掲示板は設置しないので注意すること。

- (3) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を厳守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラムの編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (4) ポールおよびやりの返送は、個人またはチームで行うこととし、本連盟は返送の手続きに関与しない。ただし、大会期間中、個人またはチームでのやりおよびポールの保管が難しい場合は、本連盟が保管場所を用意する。保管場所が必要な場合は、インフォメーション・センターに申し出ること。
- (5) 大会に参加する大学は、要請された学生審判・補助員を派遣しなければ大会に出場できないこととする。
- (6) 競技者の競技場所への入退場口は、ゲート1とゲート3のみとする。トラック競技では、フィニッシュ後、すみやかに退場するようにすること。
- (7) 今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、競技注意事項や大会の運営方法を変更する場合がある。

※以上の内容以外でも特別に競技役員から指示があった場合は、必ず従うこと。

【お問い合わせ先】

九州学生陸上競技連盟

〒810-0062

福岡県福岡市中央区荒戸 3-3-66

オリエンタル大濠 308 号室

TEL : 092-715-0997

FAX : 092-715-6440

E-mail : kyu-athi@blue.ocn.ne.jp

(別記 1)

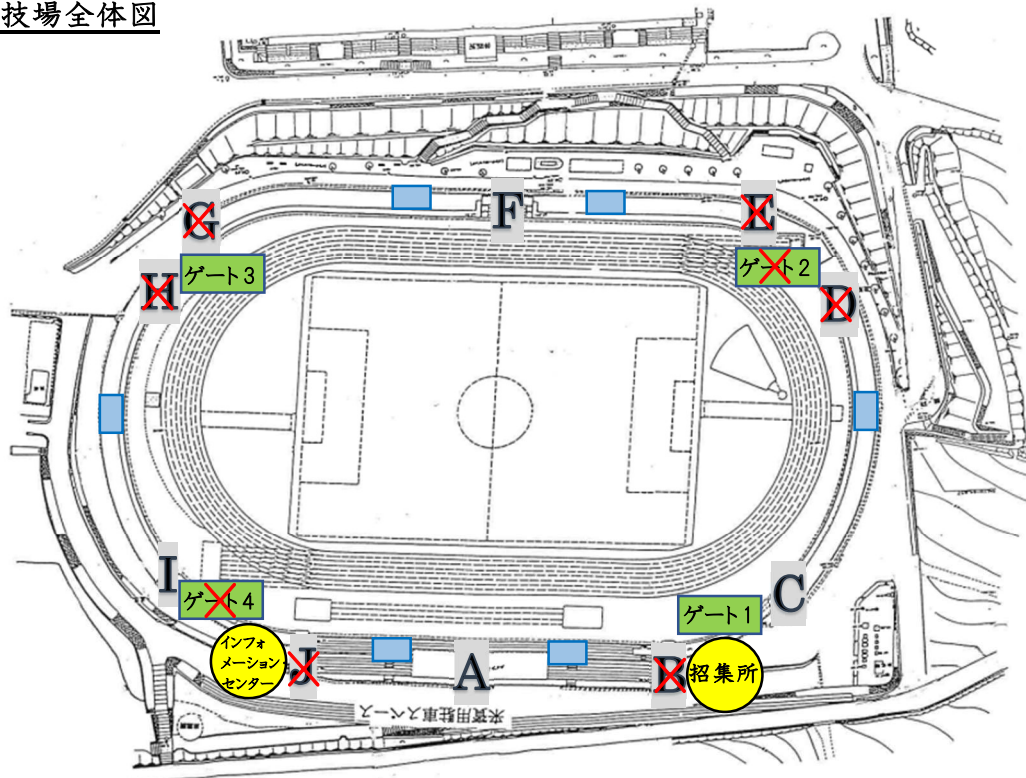
第 7 回九州学生陸上競技新人選手権大会
競技注意事項
競技場の入場規制について

本大会では、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開のガイダンスに則り、入場規制を実施する。概要は以下の通りである。本連盟ホームページに掲載している「新型コロナウイルス感染症への留意点」もあわせて必ず確認すること。

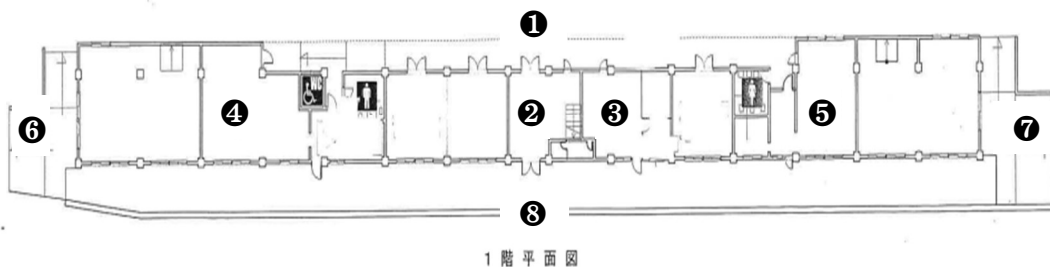
1. 本大会は、有観客で実施する。大会参加および競技場入場の際は、以下の点に留意すること。
 - (1) 「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を作成・保管し、本連盟が提出を求めた場合には、すみやかに提出できるようにすること。大会終了後は、「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を作成・保管し、本連盟が提出を求めた場合には、すみやかに提出できるようにすること。
 - (2) 大会当日、競技場来場時まで指定の Google フォームに回答し、体調申告を行うこと。フォームについては、大会当日までに本連盟ホームページに掲載する。
 - (3) 競技場来場時、スタンド入場口で検温を行う。その際、上記(2)のフォームの回答完了画面またはフォーム回答後に自動返信される回答完了通知メールを検温員に提示すること。検温の結果、37.5℃以下の場合は、入場許可証として、競技者と学生審判・補助員にはネームプレート、チーム関係者と観客にはリストバンドを渡す。37.5℃を超える場合は、腋窩体温計で再計測する。その結果、37.5℃を超える場合には、15 分後に再度検温を行う。それでも 37.5℃を超える場合には、入場を断ることがある。
 - (4) 各大学の代表者は、大会当日の受付時に、「様式 1 競技会参加のための健康チェックシート【提出用】」および「様式 2 競技会参加のための新型コロナウイルス検査報告書【提出用】」をインフォメーション・センターに提出すること。提出がない場合は、大会への参加を認めない。
※ 「様式 1 競技会参加のための健康チェックシート【提出用】」、「様式 2 競技会参加のための新型コロナウイルス検査報告書【提出用】」、「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」、「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」は、本連盟ホームページからダウンロードして使用すること。
2. 使用できるゲートや入退場口、およびコーチングエリアについては、下の【**競技場図**】を確認すること。
3. チームでの場所取りは、メインスタンド下通路、サイドスタンド、バックスタンドのみ許可する。それ以外の場所での場所取りは禁止する。また、ガムテープやクラフトテープは使用しないこと。

【競技場図】

I 競技場全体図



II メインスタンド下 室内図



A メインスタンド入退場口 C 第1コーナー側サイドスタンド入退場口

F バックスタンド入退場口 I 第3コーナー側サイドスタンド入退場口

■ コーチングエリア × 使用できないゲートまたは入退場口

① 大会本部 ② 表彰選手控室 ③ 医務室(競技場事務室) ④ 男子更衣室(使用禁止)

⑤ 女子更衣室(使用禁止) ⑥ インフォメーション・センター ⑦ 招集所 ⑧ 玄関

※玄関は、抗議や質問がある者、表彰を受ける選手、医務室を利用する者、その他大会役員および競技役員の指示を受けた者のみ通行を許可する。

(別記 2)

第 7 回九州学生陸上競技新人選手権大会

競技注意事項

競技場練習について

ウォーミングアップおよび練習は、陸上競技場または多目的広場を使用すること。昨年度大会で使用を認めていた野球場については、今大会では使用できないので注意すること。陸上競技場または多目的広場を使用する際は、必ず競技役員の指示に従い、安全に留意すること。

1. 陸上競技場について

- (1) 陸上競技場を使用できる時間は、以下の通りとする。

日付	時間
10月15日(土)	8:00～17:00 ※
10月16日(日)	8:00～17:30 ※

※ 100m、100mH、110mH、200m が行われる時間帯は、バックストレート側のみ使用を認める。それ以外のトラック種目が行われる時間帯は、競技場の使用を禁止する。競技日程をよく確認すること。

※ 10月15日(土)の開会式中と10月16日(日)の閉会式中およびその前後の時間帯は、ホームストレートの使用を禁止する。

- (2) 陸上競技場を使用する際は、左回りに走るようにすること。トラック内での逆走は絶対にしないこと。
- (3) ハードルを使用する際は、7、8レーンを使用すること。その他のレーンでハードルを使用することは禁止する。
- (4) スタートブロックを使用する際は、まわりの状況に十分に注意すること。
- (5) 密による新型コロナウイルス感染拡大と事故防止のため、当日に競技が行われる種目に出場する競技者の練習を優先すること。

2. 多目的広場について

- (1) 多目的広場を使用できる時間は、特に設定しない。
- (2) 多目的広場にハードルは用意しない。
- (3) 多目的広場は、本大会関係者以外も利用する。安全とマナーに特に気を付けること。